

森田裕史 (もりた ひろし)
2012年度 COE フェロー
連絡先: ed111004 "at" g.hit-u.ac.jp

専攻分野: マクロ経済学 (動学一般均衡、財政政策)、応用計量経済学 (時系列分析、VAR)
研究テーマ: 財政政策の効果に関する分析
博士学位請求論文題目 (予定): 財政政策の効果に関する分析

学歴

2009年3月 同志社大学商学部卒業、商学学士
2009年4月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程 (経済理論・経済統計専攻) 入学
2011年3月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程 (経済理論・経済統計専攻) 修了、経済学修士
2011年4月 一橋大学大学院経済学研究科後期博士課程 (経済理論・経済統計専攻) 入学
2012年7月 同課程在学中

職歴

2011年5月～2012年3月
一橋大学グローバル COE 「社会科学の高度統計・実証分析拠点構築」 COE フェロー
2011年5月～2011年8月
一橋大学大学院国際・公共政策大学院 TA(マクロ経済分析担当)
2012年4月
財務省財務総合政策研究所理論研修 TA(マクロ経済学演習担当)
2012年4月～
日本政策投資銀行設備投資研究所非常勤研究員
2012年5月～2013年3月
一橋大学グローバル COE 「社会科学の高度統計・実証分析拠点構築」 COE フェロー
2012年5月～2012年8月
一橋大学大学院経済学研究科 TA(上級マクロ経済学担当)
2012年9月～
成城大学経済学部非常勤講師 (経済学演習Ⅱ担当)

研究業績

・ 論文・ディスカッションペーパーなど

- [1] 森田裕史 (2011) 「財政政策の効果-Expectation Augmented VAR を用いた分析-」, 修士論文.
- [2] Ko, Jun-Hyung and Hiroshi Morita (2011), "Fiscal Policy under the Debt Feedback Rule: The Case of Japan." *Economics Bulletin*, 31(3), 2373-2387. (査読あり)
- [3] Morita, Hiroshi (2012), "Expansionary Effect of an Anticipated Fiscal Policy on Consumption in Japan." Global COE Hi-Stat Discussion Paper Series 219.

・ 学会等における発表

[1] 「財政政策の効果-Expectation Augmented VAR を用いた分析-」、『日本経済学会』、2011年度春季大会報告 (ポスター報告)、熊本学園大学、2011年5月。(事前査読あり)

[2] “Fiscal Policy under the Debt Feedback Rule: The Case of Japan.” 『日本経済学会』、2011年度秋季大会報告 (ポスター報告)、筑波大学、2011年10月。高準亨氏との共著。(事前査読あり)

[3] “Expansionary Effect of an Anticipated Fiscal Policy on Consumption in Japan.” 『第13回マクロコンファレンス』、口頭報告、慶応義塾大学、2011年11月。(事前査読あり)

[4] “Expansionary Effect of an Anticipated Fiscal Policy on Consumption in Japan.” 『DSGE マクロコンファレンス』、口頭報告、沖縄国際大学、2011年12月。(事前査読なし)

[5] “Expansionary Effect of an Anticipated Fiscal Policy on Consumption in Japan.” 『日本経済学会』、2012年度春季大会報告 (ポスター報告)、北海道大学、2012年6月。(事前査読あり)

所属学会

日本経済学会、日本財政学会

照会先

塩路悦朗 (一橋大学経済学研究科教授)

阿部修人 (一橋大学経済研究所教授)